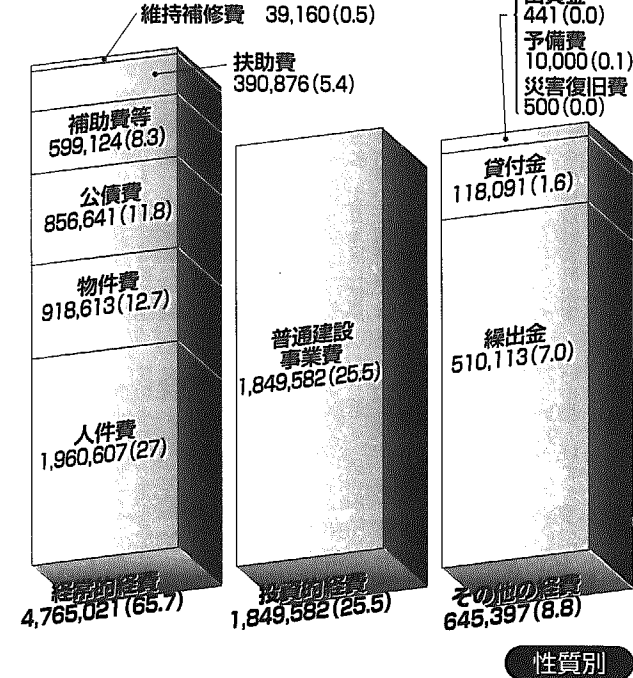
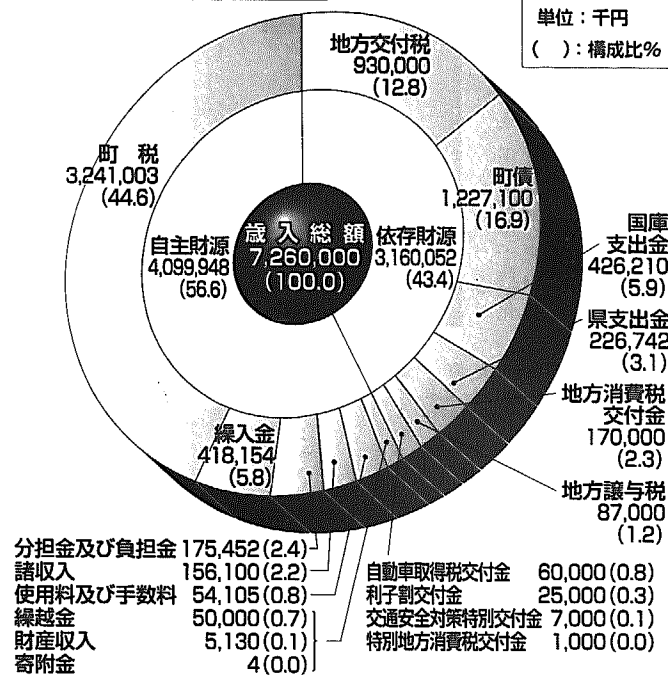
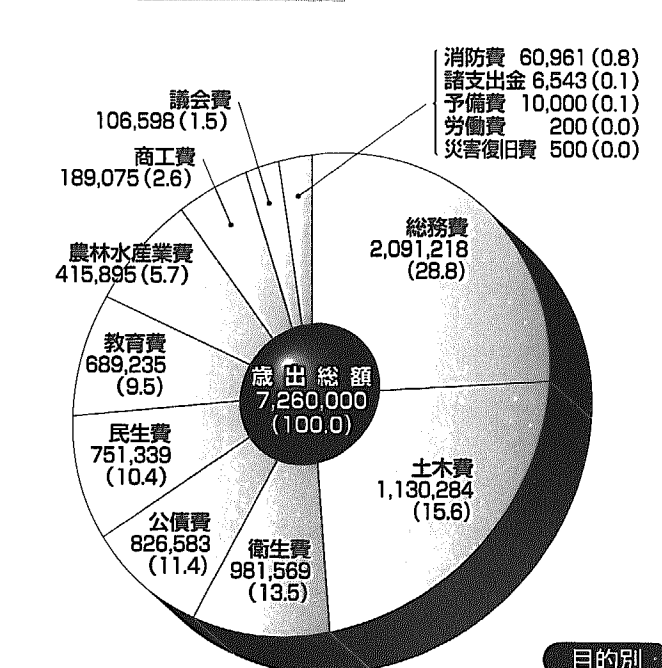


歳入 72億6000万円



歳出 72億6000万円



一般会計予算.....前年度とくらべてみると

	平成9年度	平成10年度
◆総額	74億2000万円	72億6000万円
前年度比	+12.4%	-2.2%
町民一人当たりでは	29万9194円	28万8645円
◆自主財源	40億2880万2千円	40億9994万8千円
歳入の中での割合	54.3%	56.6%
◆町税	31億3194万5千円	32億4100万3千円
歳入の中での割合	42.2%	44.6%
町民一人当たりでは	12万6288円	12万8857円
◆町債(借金)	12億2930万円	12億2710万円
歳入の中での割合	16.5%	16.9%
◆地方交付税	9億3000万円	9億3000万円
歳入の中での割合	12.5%	12.8%
◆人件費	18億6558万円	19億6060万7千円
歳出の中での割合	25.1%	27%
◆公債費(借金の返済)	7億6036万2千円	8億5664万1千円
歳出の中での割合	10.3%	11.8%
◆普通建設事業費	23億9965万5千円	18億4958万2千円
歳出の中での割合	32.4%	25.5%

円(前年度より4500万円増)、固定資産税は15億3866万9千円(3092万4千円増)を見込みました。

繰入金金は、町の貯金である基金を取り崩したもので、4億1815万4千円を計上しました。このうち財政調整基金から2億円、都市整備基金から1億円などを繰り入れました。分担金及び負担金は、ほとんどが保育料です。財産収入は、大部分が町の貯金である基金の利子。諸収入は、商工費貸付金の元利収入や預金利子などです。以上が、町だけでまかなえる自主財源で、前年度より7114万6千円増え、歳入に占める割合は56.6%と、昨年より1.8ポイント増えています。

依存財源は、前年度より2億3114万6千円減の31億6005万2千円です。このうち地方交付税が9億3000万円、国庫支出金が4億2621万円、県支出金が2億2674万2千円、地方消費税交付金が1億7000万円と見込まれています。

このほか、どうしても必要なものは、借金しなくてはなりません。これが町債で、2710万円、前年度より220万円減りました。町債の残高は、平成10年度末には8億4919万8千円になる見込みです。

歳入

歳入では、町税を32億4100万3千円と見積もり

自主財源の割合は56.6%

歳出

一般会計予算とは、町民の皆さんからいただいた町税や国庫からの補助金などを、町がどのように使うかを、年度初めに決めたものです。その年度(4月1日から翌年3月31日まで)の町政の基本となります。

前年度より2.2ポイント減

平成10年度の一般会計当初予算は、総額で72億6000万円、前年度より1億6000万円、2.2%の減となっています。町民一人当たりでは、28万8645円(2

年度途中で事業を変更したり、予定した町税や補助金が増減した場合は、補正予算が組まれます。(年度初めに決めた予算は、補正予算に対し、当初予算と呼びます)

今年度の事業として大きなものは、最終処分場減容化施設建設事業や立小小学校舎大規模改修事業などです。継続事業としては、町道整備事業やうるおいロード環境整備事業などがあります。

月末日現在の人口で計算)となり、前年度より1万549円減っています。

性質的に予算を見ると、人件費や公債費(町の借金の返済)、物件費などの必要不可欠な経費(経常的経費といえます)が、65.7%を占めています。

学校や道路などの各種施設を建設するための費用である普通建設事業費は18億4958万2千円、前年度より5億5000万7千円、22.9%と減少しました。

緑あふれる 文化のまちをめざして

平成10年度 予算

町には毎年、町民の皆さんからいただいた町税など多額のお金が入ります。それらのお金は町民の皆さんのために有効に使わなくてはなりません。学校教育、老人福祉、道路・下水の整備など。これらのお金の入り方と使いみちの計画を予算といえます。

平成10年度の一般会計と4つの特別会計、2つの企業会計の予算が3月議会で承認されましたのでお知らせします。